

高崎市立大類小学校

大類小学校の3大活動

1.「親子孫三代除草作業」 2.「エコキャップ運動」 3.「プランターへの花植え」

1. 親子孫三代除草作業

～親子孫・地域の方々と力を合わせて～

「自分たちが学ぶ場所を自分たちできれいにしよう」、「子ども（孫）たちが気持ちよく勉強できるようにしよう」、「地域の子どもたちの通う学校をきれいにしよう」との思いで、毎年8月下旬に、親子孫三代除草作業が行われています。しかし、今年度は感染症予防のため、夏休みには集まることができませんでした。そこで、2学期が始まってから、学年や学級単位で、草むしりや石拾いをしました。



花壇の手入れも行き届き、きれいな環境の中で、気持ちの良いスタートができました。

2. エコキャップ運動

～家庭と協力して集めよう！！～

平成23年度から「エコキャップ運動」を始めました。東西それぞれの児童用玄関に1カ所ずつ計2台の回収ボックスを設置し、ペットボトルキャップを集めています。身近にあるペットボトルキャップが病気の子どもを救うワクチンに姿を変えるこの活動を通して、子どもたちはエコへの意識を高めることができると同時に、命の大切さをも学ぶことができます。感謝状もいただきました。



子どもたちは、「一人でも多くの命を救おう」という使命感から、自ら進んで家庭に呼びかけています。家庭や近くの公民館の協力も得られ、毎週たくさんのペットボトルキャップが集まっています。「みんなで地球と子どもを救おう」というスローガンのもと、この活動を継続していきたいと思っています。

3. プランターへの花植え

～PTA 環境委員会の方々と協力～

新学期が始まると、環境委員会の児童が春から夏にかけて咲く花をプランターに植えます。そして、12月になると、PTA環境委員の方々が、プランターに花を植えてくださいます。パンジー、ノースポールの苗をプランター約40ケース分に植えます。3月まで、花の世話は環境委員会の児童が行います。この活動のため、花壇に花が少ないこの季節でも、児童用玄関は花であふれています。そして、卒業式には、この花たちが卒業する6年生の花道をきれいに飾ってくれます。

